

CISPR シドニー会議 SC-I 対処方針(案)

| 審議項目 | 審議内容 | 我が国の対応 | 審議結果 |
|--|--|--|------|
| 1. 開会 | 2007年9月17日(月) 9:00~17:30 | | |
| 2. 議事次第の確認 | CISPR/I/235/DA | 確認する。 | |
| 3. 前回議事録の確認 | CISPR/I/ 214A/RM 2006年10月18日にストックホルムで開催された CISPR/I 会議議事録の確認 | 確認済みであり、コメントはない。 | |
| 3.1 前回の会合で提起されたアクション | CISPR/I/ 214A/RM | 確認する。 | |
| 4. CISPR/I WG1, WG2, WG3, WG4, PLT-PT メンバーリストの確認 | IEC WEB, IEC CIS/I Dashboard, General Information, Working Groups | 確認する。 | |
| 5. IEC 中央事務局からの情報 | Mr. Bailiff より情報提供が行われる。 | 確認する。 | |
| 6. CISPR/I の作業プログラムの確認 | IEC WEB, IEC CIS/I Dashboard, Work Programme, CISPR/I/237/PW CISPR/I の作業プログラムの確認。 | 確認する。 | |
| 7. CISPR/I のプロジェクト | 現在進行中のプロジェクト、課題、リーダー、参加者、検討状況および今後の予定について確認する。 | | |
| 7.1 FDIS ステージへ進むことが合意されたプロジェクト | | | |
| 7.1.1 CISPR 22 A3 Ed.5.0 CISPR 22 の改定 | CISPR/I/185/CDV CISPR/I/204/RVC 通信ポートの伝導妨害波の Non-invasive (非侵襲)測定法の修正と今後の扱いについての審議が行われる。 | 昨年のドイツ、スイス提案に基づく修正の妥当性を確認した上で FDIS 化に賛成する。 | |
| 7.2 CDV ステージへ進むことが合意されたプロジェクト | CDV ステージのプロジェクトがないため議論は行われない。 | | |
| 7.3 CD ステージのプロジェクト | | | |

| 審議項目 | 審議内容 | 我が国の対応 | 審議結果 |
|---|--|---|------|
| 7.3.1 CISPR 32 Ed.1.0 CISPR 32 第1版の作成 マルチメディア機器の無線妨害波の許容値と測定法 | CISPR/I/224/CD CISPR/I/233/CC CISPR32 第1版の 2nd CD 文書である I/224/CD に対する各国コメントをレビューした結果が報告され、各測定法と許容値の妥当性、試験時 EUT 構成・動作条件等が審議される。そして審議結果をもとに 3rd CD を作成するか CDV ステージへ進めるかについて判断する。 | CISPR32 第1版の 2nd CD への各国コメントをレビューした結果の報告を聞く。各測定法と許容値の妥当性については、状況をみて対応するが、必要により IEC Directive に基づき Reference test method を規定すべきであることをコメントする。さらに検討すべき技術的課題が残されていると判断される場合は 3rd CD の作成をコメントする。 | |
| 7.3.2 CISPR 35 Ed.1.0 CISPR 35 第1版の作成 マルチメディア機器のイミュニティ規格 | CISPR/I/225/CD CISPR/I/236/CC CISPR35 第1版の 1st CD 文書である I/225/CD に対する各国コメントレビュー結果が紹介され、各試験法と限度値の妥当性、試験時 EUT 構成・動作条件等が審議される。そして審議結果をもとに 2nd CD を作成するか CDV ステージへ進めるかについて判断する。 | CISPR35 第1版の 1st CD への各国コメントをレビューした結果の報告を聞く。各試験法と限度値の妥当性、性能判定基準等については、わが国のコメントが反映されたことを確認する。さらに検討すべき技術的課題が残されていると判断される場合は 2nd CD の作成をコメントする。 | |

| 審議項目 | 審議内容 | 我が国の対応 | 審議結果 |
|---|--|---|------|
| 7.3.3 CISPR13: 音声およびテレビジョン放送受信機ならびに関連機器の無線妨害波の許容値と測定法のメンテナンス | CISPR/I/222/DC CISPR/I/231/MCR CISPR/I/232/CD 音声およびテレビジョン放送受信機ならびに関連機器に対する伝導及び放射妨害測定を実施する際に、準尖頭値及び平均値検波器の代わりに RMS 平均値検波器を導入する提案について、各国コメントの審議結果をもとに 2nd CD を作成するか CDV ステージへ進めるかについて判断する。 | 本提案については、 ①実機を用いたデータによる確認が必要である。 ②I/WG2 で計画中の実機による確認実験結果も考慮すべきである。 ③限度値を決定するに当たってはH小委員会からの意見を待つべきである。等の理由で CDV 化は時期尚早であることをコメントする。 | |
| 7.4 準備段階にあるプロジェクト | | | |
| 7.4.1 CISPR22 A3 f1 Ed.5.0 CISPR22 第5版の修正 電源線通信(PLC)機器のための測定法と許容値 | CISPR/I/211/DC CISPR/I/218/INF 2007年4月のシンガポール会議での合意(Indoor PLTとOutdoor PLTの妨害波許容値と測定法のCD案を準備)に基づき、2007年6月のジュネーブ会議で両CDの骨子が合意された。2007年7月のPLT-ISNタスクフォースの結果を反映したCD案が準備される予定であり、PLTプロジェクトリーダーより本CD案が提示され、内容についての審議後、CDとして意見照会に回付するか否かについて判断する。 | CD案の内容を確認する。 必要に応じて我が国のPLT機器に対する技術要件を提示し、できるだけ調和を図っていく方針で対応する。 | |
| 7.4.2 CISPR 24: 情報技術装置のイミュニティ限度値と試験法のメンテナンス | CISPR/I/213/MCR CISPR 24を改訂するためのCD文書の準備状況が報告される。 | 報告を聞き今後の方針を確認する。 CD文書の準備に賛成の態度で臨み、本件に関するタスクフォースを設立する場合は積極的に参加する。 | |

| 審議項目 | 審議内容 | 我が国の対応 | 審議結果 |
|--|---|------------|------|
| 7.4.3 CISPR 22 のメンテナンス | 前回のストックホルム会議で作業プロジェクトから削除された案件等の扱いが再度審議される可能性がある。 | 状況をみて対応する。 | |
| 8. 作業班からの報告(上記以外) | | | |
| 8.1 WG1 からの報告 | CISPR/I/xxx/INF WG1 のコンビーナから活動状況が報告される。 | 報告を聞く。 | |
| 8.2 WG2 からの報告 | CISPR/I/xxx/INF WG2 のコンビーナから活動状況が報告される。 | 報告を聞く。 | |
| 8.3 WG3 からの報告 | CISPR/I/xxx/INF WG3 のコンビーナから活動状況が報告される。 | 報告を聞く。 | |
| 8.4 WG4 からの報告 | CISPR/I/xxx/INF WG4 のコンビーナから活動状況が報告される。 | 報告を聞く。 | |
| 8.5 PLT-PT からの報告 | CISPR/I/xxx/INF PLT-PT のコンビーナから活動状況が報告される。 | 報告を聞く。 | |
| 9. 他の CISPR 小委員会の活動状況 | | | |
| 9.1 CISPR/A における SC-I に 関連が深いプロジェクト | | | |

| 審議項目 | 審議内容 | 我が国の対応 | 審議結果 |
|------------------------------------|--|--|------|
| 9.1.1 CISPR/SC-A と SC-I の合同タスクフォース | CISPR/I/195/DC, CISPR/I/207/INF, CISPR/I/208/INF, CISPR/I/226/INF, CISPR/I/234/DC CISPR/A の議長より SC-I に関連が深いプロジェクトとその審議状況が報告される。 なお、CISPR 13 と CISPR 22 に記述されている伝導および放射妨害波の測定法の一般的事項を、CISPR 16 シリーズに移設することを提案した CISPR/I/234/DC については、各国国内委員会からのコメントが審議され、合同タスクフォースで今後検討する課題の明確化が図られる。 | 報告を聞く。2件のDC文書の議論については、我が国の回答に基づき状況をみて対応する。 | |
| 9.2 CISPR/H における SC-I に関連が深いプロジェクト | CISPR/I/223/DC, CISPR/I/227/INF CISPR/H の議長より SC-I に関連が深いプロジェクトとその審議状況が報告される。 | 報告を聞く。PLT機器の許容値を検討するSC-I とSC-Hの合同タスクフォース設立に関する状況を確認する。 | |
| 9.3 リエゾン | | | |
| 9.3.1 ITU-R WP7D とのリエゾン | ITU-R WP7D で検討中の PLT システムからの妨害波に関する検討状況が報告される。 | 報告を聞き、状況をみて対応する。 | |
| 9.3.2 ITU-T SG5 とのリエゾン | ITU-T SG5 で検討中の広帯域通信システム(PLT を含む)からの妨害波に関する検討状況が報告される。 | 報告を聞き、状況をみて対応する。 | |

| 審議項目 | 審議内容 | 我が国の対応 | 審議結果 |
|---------------------------|---|---|------|
| 9.3.3 JTC1 SC25 WG3とのリエゾン | 2005年のケーブルタウン会議で、IEC TC46C から CISPR/I に提出された CISPR22 の擬似通信回路網 (ISN) の平衡度 (LCL) に関する提案に対しリエゾンを持つことが決定されており、その後の進捗状況 (リエゾン担当者: 英国メンバ) が報告される。 | ISNのLCLの見直しは、通信ポートの伝導妨害波の測定と許容値に対する適合確認に重大な影響を与えるため、TC46C と CISPR/I の JTFを構築して検討すべきであることを再度主張するとともに、JTFが構築された場合は積極的に参加する用意のあることを提案する。 | |
| 10. その他の議題 | | 状況をみて対応する。 | |
| 11. 次回会議の予定 | 大阪での開催スケジュールが報告される。 | 報告を聞く。 | |
| 12. 閉会 | 議長がオーストラリア国内委員会と各国・各機関からの出席者に感謝の意を表して閉会。 | | |